

隣保館だより

編集 下榎隣保館

〒689-4526 日野町下榎 157 番地 1

電話：72-1191 (FAX 兼)

E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp

交流会 報告

★小学生 《奥日野交流会》



真剣なまなざしで太鼓づくり

8月2日に日南町人権センターで、榎の実学習会と日南町の学習会の小学生が交流会を開きました。

はじめに、日南町人権センターの松本館長のあいさつがあり、その後2班に分かれて昼食を作り交流を深めました。

午後は、伝統工芸にふれる活動として、奥日野源流太鼓の大柄重人さんの指導の下、本格的な太鼓作りに挑戦。ケヤキの胴に牛の皮を張り、麻のひもでしっかりと締め完成です。

子どもたちからは、「太鼓を作ろうと思ったきっかけは?」「初めて太鼓を作ったのは何歳ですか?」などの質問が。大柄さんは一つ一つ丁寧に答えてくださいました。できあがった太鼓を眺めながら、「また

作ってみたいなあ」と言う子どももいて、このような出会いから伝統が受け継がれていけばいいなと感じました。

★中学生

《リバティおおさか県外研修》

8月9日、3年に一度行われる「リバティおおさか」の県外研修に、中学生8人と保護者ら9人が参加しました。

「リバティおおさか」には、部落差別をはじめとする、さまざまな人権問題がテーマごとに展示されています。在日コリアン・ウチナーンチュ、アイヌ民族、女性、ハンセン病回復者、ホームレス、性的少数者、被差別部落、障がい者、公害被害者、水俣病回復者、HIV感染者に加え、いじめの項目もあり、人権問題がさらに広がっていることなど、とても詳しい資料が数多くありました。

現在、「リバティおおさか」は1カ月に15日程度しか開館できない現状で、今後の継続も厳しい状況だそうです。しかし、多くの若い世代の学習の場としてもこの施設は必要であり、決して無くしてはならないものだと思われ感じました。

《研修参加報告》

「西部地区隣保館等職員・西部高校生人権教育主任合同研修会」に参加して

下榎隣保館長 中田 康介

7月28日、大山町人権交流センターで開かれた研修会で、栗本敦子さん（えふらぼ）が「よりよい人権教育を目指して」と題し、講演を行いました。

栗本さんは「人権教育（学習）となれば、人は構えてしまう。しかし、意識しないと通り過ぎてしまう」と話し、「普通」の使い方、危うさについてワークショップ形式で意見を導き出していきました。

『普通』の中には、差別性や偏見も見え隠れする。町民啓発において、『差別しないこと』が要請され、『差別をしない存在、許さない存在』になれと反復されると栗本さん。続けて、「差別などひどい行為を平気

で言ってしまうのは『普通でない（特別な）人間である』とされる。差別しない人が『普通』で、『普通の世界』に生きている私たちは差別するはずがない。この堂々巡りの考えが、差別に対する『構え』や『姿勢』を硬直させる」と指摘しました。

最後に、「『普通であること』は、決して私たちに『差別をしない』保障を与えるものではない。むしろそこに安住することで、世の中にある差別は確実に生き延び育っていく」
「私たちが深く考えることなく『普通に安住すること』は、差別にとつてこの上ない『こやし』になる」と警鐘を鳴らし講演を閉じられました。

『第40回日野町解放文化祭』開催

日時 11月5日（日）※展示のみ4日（土）から開催

場所 下榎隣保館・集会所

内容 40回目の節目となる今回の解放文化祭は、講演会・演奏会・そばの賞味会・演芸大会・展示などすべての催しを、下榎隣保館・集会所で行います。

現在、「我が家の自慢展」の作品と「演芸大会」の出演者を募集しています。ふるってご参加ください。皆様のご来場、お待ちしております。

※詳しくは、10月20日配布のチラシをご覧ください。

見えないから見えたもの―。 今一度「生きる意味」を考えてみませんか。

日時：10月6日(金)午後1時～午後4時

場所：町文化センター・ホール森の音楽隊

▼人権啓発講演会

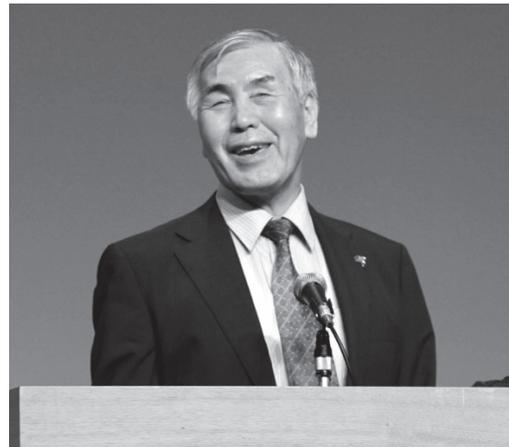
時間 午後1時15分～午後2時45分

演題 「私の歩んだ道～見えないから見えたもの」

講師 竹内昌彦さん(岡山ライトハウス理事長)

内容 講師の竹内さんは、幼少期に失明し、いじめや障がい者差別、そして最愛の息子との別れなど、波乱の人生を歩みながら一つ一つ乗り越えてきました。全盲の自分を支え見守ってくれた家族や友人、恩師らへの思い。そして、どんな時も前向きに歩み続ける大切さ。竹内さんが考える「生きる意味」とは何なのか。また、竹内さんをモデルにした映画「見えないから見えたもの」が伝える真の意味とは―。

竹内さんは現在、海外の目の不自由な子どもたちの手術費用を集めるため、「ヒカリカナタ基金」を設立。視覚障がい者の支援を続けています。そんな竹内さんの強くて優しい心に触れてみませんか。



▼町人権・同和教育研究集会

時間 午後2時55分～午後3時50分※講演会に引き続き行います。

テーマ 「お互いを大切にしたい暮らしやすい地域社会の実現を目指して～思いやりの心を育てよう～」

内容 今回は、人権啓発ビデオ「アイムヒア 僕はここにいる」の視聴を行います。同作品は、発達障がいの主人公が、社会に出て雇用者や周りの人の対応で前向きに変わっていく物語です。知的には遅れはないものの、発達アンバランスなため学校や社会の中で苦しむことも少なくない「発達障がい」。同作品を通し、発達障がいへの理解、すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現について考えてみませんか。

【問合せ先】町人権センター(電話72-2107)

～こんにちは、消費生活相談員です～

知って安心！消費生活のはなし



誰もが安心・安全に暮らせるために

▼臨時消費生活相談コーナーを開設

7月6日、町公民館で臨時消費生活相談センターを開設し、消費生活に関するパネル展示などを行いました。また、おでかけ図書館や黒坂診療所、おしゃべりカフェの利用者と一緒、「悪質商法お断り」と書かれたうちわも作りました。

誰もが安心・安全に暮らせる社会を実現していくためには普段からの意識づけが大切です。役場消費生活相談窓口では、次の日程で次回の臨時消費生活相談センターを開設します。ぜひ、お越しください！



【臨時消費生活相談センター】

日時 10月5日(木)午後2時～午後3時30分

場所 町公民館

内容 ・紙芝居「みことくんと、やかみちゃんのととりおこのみやき」

・日野郡オリジナルかるたの展示、貸し出し

※消費生活相談員が地域の集会に出かけ、最近の相談事例などをはじめ、お役に立つ情報を出前講座します。お気軽に申し込みください。

※困ったなと思ったら、あきらめずに日野町消費者生活相談窓口へ

▶消費生活相談窓口直通ダイヤル(電話72-0336)※役場産業振興課内